

提 案 書

提案名 (25字以内)	みなとみらい21体感クイズラリー
グループ名 (25字以内)	NPO法人 悟空研究所

【1】グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績を記入してください。

子ども達の知育向上のため、郷土の民話を題材とした劇の創作や紙芝居による老人施設慰問、古民具づくりキャンプ等を、子どもゆめ基金の助成を受けて実施している。

成果として、毎年「民話劇」発表公演。「民話紙芝居」での老人施設慰問。上郷森の家での「古民具づくりキャンプ」などを実施、さらに横浜市障害者スポーツ施設ラポールでの、「ゲームの日」の企画協力と、ボランティア参加をしている。

また、東日本大震災支援事業として福祉医療機構の助成により、宮城県に於いて子ども達の居場所づくりの一環として、地元の民話で紙芝居をつくり仮設住宅の集会所などで発表し、子ども達と高齢者などが交流する事業を実施している。

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	
5月	対象とする、みなとみらい21地区の文化歴史遺産の選定と、事前調査及び資料集め。活動プログラムの作成。
6月	プログラムの検証と、教材の作成。 参加者（小中学生）の募集PR。
7月	クイズラリー会場及び活動地域の確定と準備と事前打ち合わせ。 クイズラリーの構成演出計画。 参加者（小中学生）の決定。オリエンテーションと教材の配布。
8月	子ども達による、みなとみらい文化遺産探訪散歩。
9月	みなとみらい21体感クイズラリー開催。 報告書と記録の作成。
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

【3】助成を受けて行う活動の内容について、次の項目に沿ってご記入ください。

- (1) 活動の内容 (2) 活動の主催者及び参加者 (3) 活動を実現するための方法 (4) 時期 (5) 場所 (5) 当地
区で活動を行う理由 (6) エリアマネジメントの効果 (7) その他、特徴やアピールする点

(1)活動の内容

「みなとみらい21体感クイズラリー」は、みなとみらい21地区に現存する歴史的文化遺産を子ども達が楽しく理解するように、歴史探訪散歩とクイズとミニラリーを折り込んだ、考える遊びの活動として構成する。

活動は教材による学習の後に、みなとみらい21歴史探訪として(旧横浜港駅のプラットホーム跡、赤レンガ倉庫、ドッグヤードガーデン等の史跡を5～6ヶ所箇所程度選定し探索散歩する。

後日、探索散歩で感じ理解したみなとみらい21の文化遺産についての理解度を、体感遊びとして臨港パークでクイズとミニラリーを実施して、みなとみらい21の歴史的側面を子ども達に実感させて理解させる。その結果として子ども達に、みなとみらい21地区の歴史的文化遺産への好奇心を育むことを目的としている。

(2)活動の主催者及び参加者

主催者：NPO法人悟空研究所。 後援：横浜市教育委員会に依頼予定。

参加者：小学生を中心とする子ども達。 協力：横浜市子ども会連絡協議会に依頼予定。

(3)活動を実現するための方法

子ども達が探訪する文化歴史遺産の選定にあたっては、事前調査及び資料集め、当該地域の安全性などを確認して活動プログラムの作成をする。体感クイズラリーを開催する、臨港パークについては、管理者の(株)横浜国際平和会議場と協議し事前に許可を取り実施する。

また、この活動をより効果的に広報宣伝することに注力する。特に当該地域のマンション群等を、ターゲットとしたプロモーションで当該地域の子ども達の参加と理解を促進したい。

(4)時期

子ども達の夏休みと、秋の休日を利用しての実施を予定している。

今年度は第2次応募で冬の天候に左右され苦慮したので、今年度は夏から秋の実施としたい。

(5)場所

みなとみらい地域の歴史的文化遺産(赤レンガ倉庫、旧横浜港駅プラットホーム、旧税関事務所遺跡、ハンマーヘッドクレーン等々)の地域をまわるコース、と臨港パーク。

(6)当地区で活動を行う理由

江戸末期から明治の日本近代史で横浜開港は重要な位置にあった。その連綿と受け継がれた、近代史の遺産や遺跡は、みなとみらい21地区に点在している。

それは横浜に住む子ども達にとって、活用したい生きた近代史の教材である。

(7)エリアマネジメントの効果

ショッピングモール・ビジネスセンター・公園・ホテル・住居(マンション)等で近代的都市空間として完成しつつある、当該地域の歴史的文化遺産を子ども達に理解させることは、当該地域を次代により良いかたちで受け継いでもらえい、それは当該地域の価値の維持・向上に役立つものと思います。

(8)その他、特徴やアピールする点

子ども達が、自分たちの郷土に愛着を持ち、誇りを持てるように、この歴史的文化遺産を取り巻く歴史物語を、語りかけて子ども達の血肉となるよう体感させるイベントです。

特に2年次の活動として重視したいのは、当該地域に居住する子ども達が、この活動から何か伝わってくるものを体で感じて、横浜に生活している喜びを共感して、子ども達の交流の輪を広げ子ども達に、みなとみらい21から横浜の明日を考えさせる第一歩としたい。

子ども達が「みなとみらい21地区」を体で感じて、 横浜の初めてを体験するクイズラリー。 みなとみらい21体感クイズラリー

「みなとみらい21」
に昔から、
つたわる文化遺産を
さがし歩く、
楽しい1日です。

みなとみらい21
を歩き回って
楽しむ
クイズラリー
です。

1月21日(土)

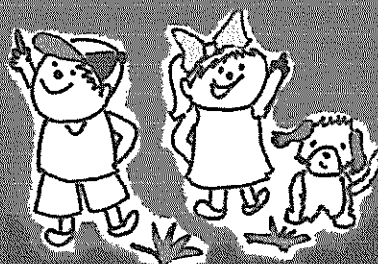
みなとみらい21地域の探索散歩

2月4日(土)

みなとみらい21地域クイズラリー

【詳しくは裏面をご覧ください】

ご参加を



お待ちしております。

みなとみらい21
エリアマネジメント活動
助成事業

主催 NPO法人悟空研究所
後援 横浜市教育委員会
協力 横浜市子ども会連絡協議会

NPO法人 悟空研究所 では

独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて、
東日本大震災、被災地の復興支援活動をしています。

テーマは、子ども達の居場所づくりと、元気回復です。
そして、仮設住宅や避難施設入居者の閉塞感の打破です。

気仙沼市・登米市・南三陸町で、
子ども達は、元気です。
家族が犠牲になり親戚の家で生活している、
小学生も少しずつ笑顔を取り戻してきました。
民話紙芝居づくりを通して友達との会話も増えてきた、
子どもも、いるようです。

この、子ども達の居場所づくりと施設や仮設住宅集会所の訪問が、
子どもたちの元気と未来が、
地域の皆さんに勇気を与えて、
地域の復興に少しでも役立てたい、
という願いの活動です。
この活動にご注目ください。



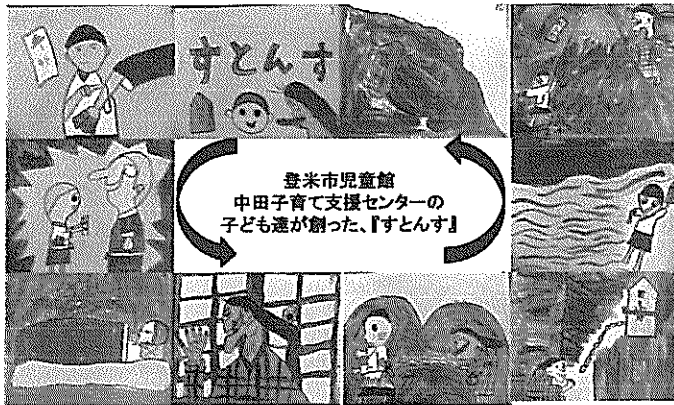
被災地の方々の力になりたいと、
子ども達が地元地域に伝わる民話をもとにつくった紙芝居を持って、
被害にあわれた方々を訪問して発表し、
楽しく交流する活動をしています。

子ども達が、
地元の民話を勉強して、
『民話紙芝居』をつくり、
施設慰問をして交流する活動。

気仙沼市・登米市・南三陸町で、
子ども達が、地元で伝わる民話や言い伝えで、
「民話紙芝居」をつくり、
登米市にある南三陸町の方々の仮設住宅や、
お年寄りの施設を訪問して発表しています。
子どもたちがふりまく、元気と勇気が地域の皆さんに、
地域の歴史や伝統から、新しい未来を感じさせて、
復興の際に少しでも役立てていただきたい、
という願いながら子ども達の笑顔に接しています。



独立行政法人福祉医療機構の助成事業として、
東日本大震災復興のお手伝いとしての活動をしています。
少しでも、被災者の力になるために、私たちに出来ることとして、
子どもたちが地域に伝わる民話をもとにつくった紙芝居を持って、
被害者を訪問して発表し、楽しく交流する活動をしています。

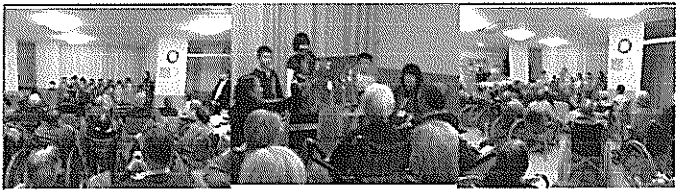


登米市児童館
中田子育て支援センターの
子ども達が創った、『すとなす』

宮城県登米地方に伝わる「すとなす」というお話を、
二つの施設の子も達が取り上げました。
年齢や子ども達の個性が、
同じお話でも面白さに違いが出ています。



杉の子幼児園(学童)の子も達が、
考えて創った、『すとなす』



第一回目の発表会として、
社会福祉法人 元気村、ナーシングホーム翔裕園
の皆さんに見てもらいました。
一生懸命な子ども達の元気に、皆さん感激の様でした。

